

学校の校長職という仕事柄、学生が卒業後お世話になる企業の社長や人事担当者とは頻繁にお会いする機会が増えました。企業訪問時には必ず企業が求める人材についてコメントを頂くのですが、だいたいの次のような意見に集約されます。

まずは元気でよいことがきっちりできる学生。次に素直で何事も吸収でき、伸び代がある学生。さらにコミュニケーションやチームワークがとれる学生など、意外なほど基本的な気質についてコメントする企業が多いのです。最後の方に、でき

素描

企業が求める人材とは

中日本航空専門学校長 磯本聡一

れば英語力がある学生や基礎知識がしっかりしている学生など、学校で学ぶ内容について意見をを下せる役員の方もおられますが少数意見です。

航空宇宙産業の専門知識や技量が身につくといった内容を標ぼうする本校としては肩透かしの感があります。これが現実です。多くの企業が求める学生の気質は本来、家庭で行う「しつけ」の範ちゅうと個人的には思っています。しかし、義務教育や高等教育においてもないがしろにされ、本校のような専門学校にお鉢が回って行く現状です。

本校では義務教育と同様、担任制を採っています。したがって先生方は専門教育に加え、生活指導まで行っているのです。本当に頭が下がります。

学生の親御さんも、自分の子供が劇的に変わり、日本でも有数の優良企業への就職が実現するのを見て、学校へ感謝の言葉を多く寄せるのもうなずけるところです。

企業や社会が現在の若者に求める気質は、われわれ大人が、子供たちにすべき事をなさなかった事に原因もあることから、自戒も込めて学生を教育していく所存です。